



平成 23 年 5 月 25 日

〒100-0212 東京都大島町波浮港 18

Tel 04992(4)0381 Fax 04992(4)0383

ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

平成 23 年 三宅島テングサ作柄調査結果

着生量は昨年並みだが以前よりは回復の傾向も

三宅島において、磯根資源の重要種であり、噴火前まで最も水揚げ金額が多かったテングサ類（オオブサ及びマクサの2種類）の着生状況調査を行いました。その結果、2種類とも単位面積当たりの着生量は昨年並みで、藻質は良好でした。

年（6年前）と比べると、オオブサの漁場評価はあまり変化していませんが、マクサはこの数年間でイガヤ〜学校下の区域でD級からB級に評価が上がり、回復の傾向がみられました（図1の漁場番号10及び11）。

三宅島の5地区、11地点で調査を実施

今年度は、4月から5月にかけて図1に示した11地点について調査をしました。各地点では、水深3m以浅の波打ち際に生育しているオオブサと水深16m以浅のマクサについて、SCUBA潜水による目視観察と1㎡の枠取り調査を行いました。

着生量は昨年並み、藻質は良好

調査結果は、図1及び表1のとおりでした。

オオブサは、北東部の漁場での着生量は昨年並みで藻質は良好でした。マクサの着生量は、昨年並みでしたが、昨年に較べてハナ付き（カギウスバノリの着生）が少なく、藻質は良好でした。

また、両種の作柄調査が本格的に始まった平成17

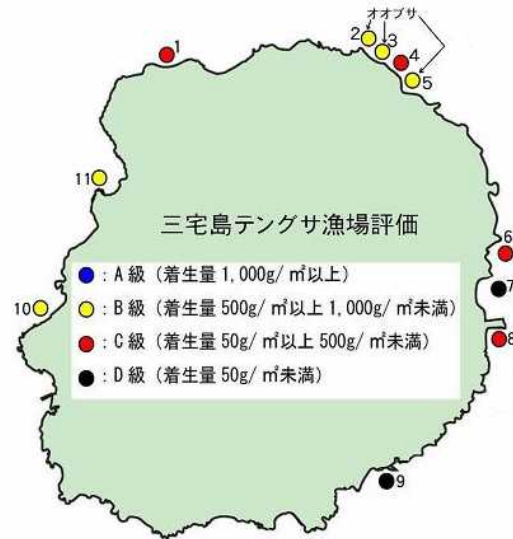


図1 テングサ漁場評価

表1 テングサ（オオブサ及びマクサ）の漁場別着生状況

地区	漁場番号	漁場	調査水深 (m)	藻種	藻長 (cm)	着生量 (g/㎡)	漁場評価※	備考
伊豆	1	ダイボウ	7~11	マクサ	13.5	368.2	C(実績なし)	藻体はきれいに伸びているが、一部にハナ付き(カギウスバノリの着生)がみられた。
	2	ミツイシ	1~3	オオブサ	17.0	581.2	B(実績なし)	藻体はきれいに伸び、広範に着生していた。
	3	ナダード西	1~2	オオブサ	15.5	607.2	B(B)	藻体はきれいに伸び、広範に着生していた。
	4	ナダード	8~10	マクサ	10.9	142.2	C(C)	藻体はきれいだいが、藻長が短く、着生が少なかった。
	5	オオネ	2	オオブサ	16.7	708.7	B(B)	藻体はきれいに伸び、広範に着生していた。
神着	6	オオハシ	8~10	マクサ	9.5	54.9	C(D)	マクサの着生は少なく、オオブサが混ざった。
	7	ハチジョウヤシ	8~11	マクサ	9.4	26.9	D(D)	マクサの着生は少なく、一部にヌマ付き(ケイソウの着生)がみられた。
	8	アラキ	3~4	マクサ	8.7	222.5	C(実績なし)	藻体はきれいだいが短かった。他にオオブサ、オオバクサが多く混生していた。
坪田	9	ウラネ	4~8	マクサ	—	0.0	D(実績なし)	周辺にマクサの着生はみられなかった。
阿古	10	学校下	4~8	マクサ	15.8	540.2	B(C)	藻体はきれいに伸びているが、一部にハナ付き(カギウスバノリの着生)がみられた。
伊ヶ谷	11	イガヤ	8~16	マクサ	18.2	558.0	B(B)	藻体はきれいに伸びているが、一部にカキヌイトカザシグサの着生がみられた。

※()は昨年の評価